

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パレス薬院 新築工事	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市中央区薬院四丁目18	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	104 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年4月26日
敷地面積	973 m ²	作成者	宮本 晴香
建築面積	418 m ²	確認日	2016年4月26日
延床面積	6,004 m ²	確認者	吉井 崇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)
②建築物の取組み	46 (71%)
③上記+②以外の	92 (71%)
④上記+	138 (71%)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.4
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	2.8
耐用性	2.8
対応性	3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	1.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	2.2
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	4.1
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能的な空間づくりを目的とし、日常生活にかかわる通風・採光に配慮した計画とした。 	<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁は、断熱材を吹きつけた防露壁とした。 	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な階高を確保し、空間にゆとりのある計画とした。
<p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具を採用し、使用エネルギーの削減に配慮した計画とした。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躯体と仕上材が容易に分別可能となっており、解体の際のリサイクル性に配慮した。
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階駐車場に夜間照明を設置し、防犯性に配慮した計画とした。 	
<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前面道路境界には、植栽を植え敷地外と一体となるような空間とした。 	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される